

新しい生活文化を発信する

アム

主な記事

2～3面 1面続き
インタビュー～竹信 三恵子さん(朝日新聞編集委員)／
アンケート「あなたのワーク&ライフ拝見」／ワーク・ライ
フ・バランス実践中～高野亘さん(砂川町)
4面 立川・この人／編集委員紹介／アム・インフォメーション

3/10 NO.25

2010(平成22)年
年2回(9月・3月)発行

発行／立川市女性総合センター
(男女平等参画課・生活安全課)
企画・編集／市民編集委員
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2
☎042-528-6801 FAX042-528-6805
e-mail danjobyoudou@city.tachikawa.lg.jp
seikatsuanzen@city.tachikawa.lg.jp

それぞれの

仕事と生活の調和

ワーク&ライフ

わたしのお・も・い

現在の時間の使い方
で満足している点、
不満な点、希望、
ご意見を聞きました。

不満

夫の残業が多く、夫婦間のコミュニケーションが取りづらく残念。「有給休暇を使い切らないと会社が罰せられる」くらいの制度がほしいです
(30代女性・主婦)

子ども中心で好きに
使える時間がない
(30代女性・主婦)

働いていないので時間はあるが、細切れになってしまう
(40代女性・主婦)

週に一度は、現在通っているスポーツを続けたい
(50代女性・介護職員)

自分の時間を毎日作る。
強い意志
(40代女性・パート勤務)

もう少しパソコンを駆使して、交通にかかる時間を少なくし、ボランティアの時間を増やしたい
(70代女性・デザイナー)

夫と休日がいっしょなので、できれば別の日に休んで、一人でゆつくりしたい
(40代女性・パート勤務)

希望

「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」という言葉は、最近よく知られるようになりました。ワーク・ライフ・バランスが実現した社会は暮らしやすく、幸福度が高い社会ですが、「絵に描いたもち」という声も。なぜ今、ワーク・ライフ・バランスなの？アンケート調査や取材を通して考えました。

仕事量と生活、余暇の時間が崩れると自分の他、家族にもストレス、不満が出ると思います
(50代女性・アルバイト)

長い人生の間にはいろいろな状況に置かれ、自分の思い通りに時間を使えない時期がある。周りの人の手助けが必要
(60代女性・無職)

それぞれの人が「楽しい」「生きがい」を感じられる働き方がいいと思います
(50代女性・司書)

仕事を2つ3つ掛け持ちで働く主婦もいる。収入がなければ学校も続けられないほど、いつの間にか日本は貧困になっていたということではないでしょうか
(60代女性・無職)

20代、30代の時期に子育てだけに手を取られてしまうのはもったいない。保育が充実していれば女性が新たな自分の可能性を見つけに行けるし、日本の労働力の質も上がる。その為には、仕事を持っていないママでも堂々と保育園に入れられる環境が必要だと思う
(30代女性・主婦)

子どもの帰りが遅いと孫の相手で自分の時間がなくなってしまう
(60代女性)

残業を減らし、子どもが起きているうちに帰宅したい。現在は子どもに関われるのは、週末か休みの日のみ
(40代男性・介護職員)

休日は自分を優先にと思っているが、そうすると気分的に落ち着かず後ろめたさが残る
(60代・女性)

朝の洗濯は夫の分担となっている
(60代女性・パート)

仕事がある日の時間配分が体調によい
(50代女性・司書)

時間的に負担はあっても10年前より精神的に負担が少なくなっている。病気で夫が協力的になったからそう思う
(60代女性・無職)

趣味と実益を生かせる時間と場ができ、地域交流を図りながらボランティア活動にも活用できる。このような時間が持てるライフスタイルが確立することを期待する
(70代男性・団体役員)

満足



わたしの意見





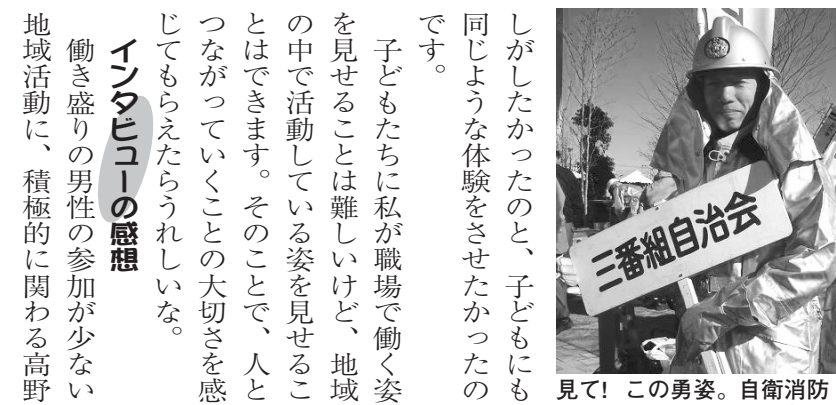
仕事と地域活動で生活にメリハリ!さらに仕事充実

中学生と小学生のお子さんがいる高野さん(48歳)。仕事以外の時間、子と母会、PTA、自治会など地域の活動を楽しんでいます。どうしてそんなに忙しさに地域活動の時間を確保できるのでしょうか?

私の勤めている会社では、ワーク・ライフ・バランスを推奨しているの、有給を使いながら平日にも活動することができます。ボランティア休暇制度もあり、地域活動をするための職場環境が整っています。職場の人たちも理解があるので、仕事の都合さえつければコンコンと帰る必要はありません。そういうわけで、精神的にも負担を感じることがないし、ワークとライフのメリハリがあって、仕事の効率も上がります。

地域活動に参加するようになったきっかけは何ですか?

以前は仕事人間で、地域より仕事に集中していました。子どもが生まれたのがきっかけで、子どもたちを遊ばせたり、行事に参加しているうちに、子ども会から始まり今に至っています。私は、生まれても育ちも砂川で、地域の中で大人たちにしかられたり、見守られながら育ってきました。その恩返



子どもたちに私が職場で働く姿を見せることは難しいけど、地域の中で活動している姿を見せることはできます。そのことで、人となりが伝わる。大切さを感じてもらえたらうれしいな。

インタビュの感想

働き盛りの男性の参加が少ない地域活動に、積極的に関わる高野さん。自らが楽しみ、地域にも期待されている様子が見えます。こういった取り組みが進んで、地域活動に参加する男性が増え、街の活性化にもつながります。

高野さんのように、ライフの中で充実した体験したことを、ワークの中でアイデアとして活かしながら効率へつなげる。ライフとワークの相乗効果を実感しました。

育児期、介護に携わる時期、その時々の自分のライフ・ステージに応じて、多様な働き方を選び、地域活動や家庭生活も充実させることができるワーク・ライフ・バランス社会。高野さんの生き生きとした表情から、その楽しさが伝わってきました。

〈高野 巨さんの地域活動〉
三番組子ども会育成会会長・立川第五中学校PTA副会長・
三番組自治会役員・こびら橋会館運営委員・学校評議員・
子どもクラブ放課後運営委員



高野さん(48歳)。仕事以外の時間、子と母会、PTA、自治会など地域の活動を楽しんでいます。どうしてそんなに忙しさに地域活動の時間を確保できるのでしょうか?

私の勤めている会社では、ワーク・ライフ・バランスを推奨しているの、有給を使いながら平日にも活動することができます。ボランティア休暇制度もあり、地域活動をするための職場環境が整っています。職場の人たちも理解があるので、仕事の都合さえつければコンコンと帰る必要はありません。そういうわけで、精神的にも負担を感じることがないし、ワークとライフのメリハリがあって、仕事の効率も上がります。

地域活動に参加するようになったきっかけは何ですか?

以前は仕事人間で、地域より仕事に集中していました。子どもが生まれたのがきっかけで、子どもたちを遊ばせたり、行事に参加しているうちに、子ども会から始まり今に至っています。私は、生まれても育ちも砂川で、地域の中で大人たちにしかられたり、見守られながら育ってきました。その恩返

子どもたちに私が職場で働く姿を見せることは難しいけど、地域の中で活動している姿を見せることはできます。そのことで、人となりが伝わる。大切さを感じてもらえたらうれしいな。

インタビュの感想

働き盛りの男性の参加が少ない地域活動に、積極的に関わる高野さん。自らが楽しみ、地域にも期待されている様子が見えます。こういった取り組みが進んで、地域活動に参加する男性が増え、街の活性化にもつながります。

高野さんのように、ライフの中で充実した体験したことを、ワークの中でアイデアとして活かしながら効率へつなげる。ライフとワークの相乗効果を実感しました。

育児期、介護に携わる時期、その時々の自分のライフ・ステージに応じて、多様な働き方を選び、地域活動や家庭生活も充実させることができるワーク・ライフ・バランス社会。高野さんの生き生きとした表情から、その楽しさが伝わってきました。

高野さん(48歳)。仕事以外の時間、子と母会、PTA、自治会など地域の活動を楽しんでいます。どうしてそんなに忙しさに地域活動の時間を確保できるのでしょうか?

私の勤めている会社では、ワーク・ライフ・バランスを推奨しているの、有給を使いながら平日にも活動することができます。ボランティア休暇制度もあり、地域活動をするための職場環境が整っています。職場の人たちも理解があるので、仕事の都合さえつければコンコンと帰る必要はありません。そういうわけで、精神的にも負担を感じることがないし、ワークとライフのメリハリがあって、仕事の効率も上がります。

地域活動に参加するようになったきっかけは何ですか?

以前は仕事人間で、地域より仕事に集中していました。子どもが生まれたのがきっかけで、子どもたちを遊ばせたり、行事に参加しているうちに、子ども会から始まり今に至っています。私は、生まれても育ちも砂川で、地域の中で大人たちにしかられたり、見守られながら育ってきました。その恩返



高野さん(48歳)。仕事以外の時間、子と母会、PTA、自治会など地域の活動を楽しんでいます。どうしてそんなに忙しさに地域活動の時間を確保できるのでしょうか?

私の勤めている会社では、ワーク・ライフ・バランスを推奨しているの、有給を使いながら平日にも活動することができます。ボランティア休暇制度もあり、地域活動をするための職場環境が整っています。職場の人たちも理解があるので、仕事の都合さえつければコンコンと帰る必要はありません。そういうわけで、精神的にも負担を感じることがないし、ワークとライフのメリハリがあって、仕事の効率も上がります。

地域活動に参加するようになったきっかけは何ですか?

以前は仕事人間で、地域より仕事に集中していました。子どもが生まれたのがきっかけで、子どもたちを遊ばせたり、行事に参加しているうちに、子ども会から始まり今に至っています。私は、生まれても育ちも砂川で、地域の中で大人たちにしかられたり、見守られながら育ってきました。その恩返



高野さん(48歳)。仕事以外の時間、子と母会、PTA、自治会など地域の活動を楽しんでいます。どうしてそんなに忙しさに地域活動の時間を確保できるのでしょうか?

私の勤めている会社では、ワーク・ライフ・バランスを推奨しているの、有給を使いながら平日にも活動することができます。ボランティア休暇制度もあり、地域活動をするための職場環境が整っています。職場の人たちも理解があるので、仕事の都合さえつければコンコンと帰る必要はありません。そういうわけで、精神的にも負担を感じることがないし、ワークとライフのメリハリがあって、仕事の効率も上がります。

地域活動に参加するようになったきっかけは何ですか?

以前は仕事人間で、地域より仕事に集中していました。子どもが生まれたのがきっかけで、子どもたちを遊ばせたり、行事に参加しているうちに、子ども会から始まり今に至っています。私は、生まれても育ちも砂川で、地域の中で大人たちにしかられたり、見守られながら育ってきました。その恩返

高野さん(48歳)。仕事以外の時間、子と母会、PTA、自治会など地域の活動を楽しんでいます。どうしてそんなに忙しさに地域活動の時間を確保できるのでしょうか?

私の勤めている会社では、ワーク・ライフ・バランスを推奨しているの、有給を使いながら平日にも活動することができます。ボランティア休暇制度もあり、地域活動をするための職場環境が整っています。職場の人たちも理解があるので、仕事の都合さえつければコンコンと帰る必要はありません。そういうわけで、精神的にも負担を感じることがないし、ワークとライフのメリハリがあって、仕事の効率も上がります。

地域活動に参加するようになったきっかけは何ですか?

以前は仕事人間で、地域より仕事に集中していました。子どもが生まれたのがきっかけで、子どもたちを遊ばせたり、行事に参加しているうちに、子ども会から始まり今に至っています。私は、生まれても育ちも砂川で、地域の中で大人たちにしかられたり、見守られながら育ってきました。その恩返

高野さん(48歳)。仕事以外の時間、子と母会、PTA、自治会など地域の活動を楽しんでいます。どうしてそんなに忙しさに地域活動の時間を確保できるのでしょうか?

私の勤めている会社では、ワーク・ライフ・バランスを推奨しているの、有給を使いながら平日にも活動することができます。ボランティア休暇制度もあり、地域活動をするための職場環境が整っています。職場の人たちも理解があるので、仕事の都合さえつければコンコンと帰る必要はありません。そういうわけで、精神的にも負担を感じることがないし、ワークとライフのメリハリがあって、仕事の効率も上がります。

地域活動に参加するようになったきっかけは何ですか?

以前は仕事人間で、地域より仕事に集中していました。子どもが生まれたのがきっかけで、子どもたちを遊ばせたり、行事に参加しているうちに、子ども会から始まり今に至っています。私は、生まれても育ちも砂川で、地域の中で大人たちにしかられたり、見守られながら育ってきました。その恩返

高野さん(48歳)。仕事以外の時間、子と母会、PTA、自治会など地域の活動を楽しんでいます。どうしてそんなに忙しさに地域活動の時間を確保できるのでしょうか?

私の勤めている会社では、ワーク・ライフ・バランスを推奨しているの、有給を使いながら平日にも活動することができます。ボランティア休暇制度もあり、地域活動をするための職場環境が整っています。職場の人たちも理解があるので、仕事の都合さえつければコンコンと帰る必要はありません。そういうわけで、精神的にも負担を感じることがないし、ワークとライフのメリハリがあって、仕事の効率も上がります。

地域活動に参加するようになったきっかけは何ですか?

以前は仕事人間で、地域より仕事に集中していました。子どもが生まれたのがきっかけで、子どもたちを遊ばせたり、行事に参加しているうちに、子ども会から始まり今に至っています。私は、生まれても育ちも砂川で、地域の中で大人たちにしかられたり、見守られながら育ってきました。その恩返

竹信 三恵子さん
朝日新聞編集委員
元男女共同参画会議基本問題専門調査会委員。
09年貧困ジャーナリズム大賞受賞。著書「ルポ雇用劣化不況」「ワークシェアリングの実像」ほか多数。

WORK LIFE

これから

ワーク・ライフ・バランス社会!

いつも元気なA子さん。でもこの頃ちょっと浮かぬ顔...

「定年増の夫は職場でリストラされそうだし、息子は派遣社員でいつ仕事なくなるかわからない。その上、娘は子どもがほしいのに朝早くから夜遅くまで仕事、仕事で...。あーあ、この先、いったいどうなるのかしら?」



A子さんの不安に答えて、「ワーク・ライフ・バランス社会こそ不安解消の決め手」というのは竹信三恵子さん。ワーク・ライフ・バランスはA子さんの住む立川市でも「第5次男女平等参画推進計画」の主要課題であるとか。ワーク・ライフ・バランス社会って、どんな社会? 信半疑のA子さん。さっそく竹信さんに聞いてみました。

男はワーク・ライフ、女はライフ・ワーク...だった日本

A子 ワークは「仕事」ライフは「生活」。仕事と生活のバランスで、将来の不安がなくなるって本当ですか?

竹信 今の日本のへいそく感や不安をなくすには、それ以外に方法はないと思います。ワーク・ライフ・

ンスは「仕事と生活の調和」と訳されますが、ひとりの人間の中で仕事の時間と生活の時間のバランスが取れた生き方をしようということです。

日本は、戦後ずっと男が外で仕事をし、女が家庭で育児、介護を無償でする男女役割分業システムできたために、ワークとライフのゆがみがとても大きい社会でした。

A子 夫はワーク・ワーク、妻はライフ・ライフ?

竹信 そうです。ところが70年代に先進国入りすると、低成長経済になり、夫の賃金も上がらなくなりました。

その上、教育や住宅ローンで、妻が働かないと家計が成り立たなくなってきました。外で働きたい女性も増え、この仕組みは時代に合わなくなってきたのです。

A子 私も塾代を稼ぎにスーパーに働きにきました。

竹信 正社員? パート?

A子 もちろんパートです。子どもが学校から帰ってくるまでしか働けませんから。竹信 確かに女性が働くには

必要な「同一価値労働、同一賃金」

A子 我が家も私のパート収入なんて微々たるもの。やっぱりお父さんに頑張ってもらわないと。

竹信 でも、もし同じ時間、同じ仕事をして、正社員やパートという働き方に関わらず同じ賃金がもらえたらどうでしょう?

A子 そうしたら、私のパート収入もかなりの額になるはずだし、もう少し頑張って働いて、お父さんを楽にしたいな。リストラされないように無理しているのです。

竹信 そうですね。それが実現すれば、A子さんも夫さんも、仕事と生活のバランスがぐんと良くなりませんか? ワーク・ライフ・バランス社会というのは、夫も妻も仕事をし、それぞれが生活で必要なだけの給料を得て、家庭責任もふたりで果たす社会というイメージです。

A子 今までの働き方や家庭のあり方とはかなり違います。

が、何だかわくわくします。

竹信 今、日本は正社員、派遣、パートなど、働き方の違いで賃金体系が全く違います。非正社員は週40時間働いても食べられない賃金水準が多く、貧困の温床とも言われています。しかも困ったことに、パートや派遣など、いわゆる非正規雇用は若い世代に多いのです。現在、15才から24才の半分以上が非正規雇用。男性でも4割、女性は5割を超えています。そうした状況では、安心して家庭を持ったり、子どもを産んだりできません。それが今の日本の不安やへいそく感につながっています。解消するためには、同じ価値の仕事をしたら、雇用形態

多様な働き方ができる社会

A子 ワーク・ライフ・バランス先進国の欧米の状況を教えてください。

竹信 欧米がワーク・ライフ・バランス社会へ動いたのは、70年代に賃金の上昇で低賃金が必要な企業が海外へ出ていき、失業者が増えたからです。男性の失業が女性たちを就労に向かわせたのです。

A子 今の日本とそっくり。

竹信 しかし、働きに出てみると職場はまだまだ男社会

がどうであれ、同じ賃金を支払うという「同一価値労働、同一賃金」が確立されること、それと均等に待遇される必要があります。

A子 そうなると、正社員やパートといった働き方の違いに、意味がなくなりますね。

竹信 いいところに気がつきました。

実際「同一価値労働、同一賃金」が確立している欧米を支持するサービス要求するところから始め、性別を問わずに誰もが働きたいワーク・ライフ・バランスのメニューを実現していったのです。

A子 女性たちがリーダーシップを発揮したんですね。

竹信 アメリカでは、ワーク・ライフ・バランスを実践している企業は、労働効率が上がる、優秀な人材が集まりやすいなどの点が評価されて、今では多くの企業が、積極的に取り入れています。

スウェーデンは景気がよかつた60年代に、人手が足りなくて、女性が働きに出たのですが、働くには育児や介護のサポートが必要であるとして、女性議員を増やし、両立支援施設を増やしました。そして女性を雇用したのです。その結果、納税者が増え、財政が安定しました。

もうひとつこのワーク・ライフ・バランス社会で見逃せないのが、従来の働き方ではない多様な働き方が可能になるということです。男性も女性も、生活と仕事を両立させることで、環境や貧困など生活に根ざした問題に目が向き

スウェーデンは景気がよかつた60年代に、人手が足りなくて、女性が働きに出たのですが、働くには育児や介護のサポートが必要であるとして、女性議員を増やし、両立支援施設を増やしました。そして女性を雇用したのです。その結果、納税者が増え、財政が安定しました。

もうひとつこのワーク・ライフ・バランス社会で見逃せないのが、従来の働き方ではない多様な働き方が可能になるということです。男性も女性も、生活と仕事を両立させることで、環境や貧困など生活に根ざした問題に目が向き

あなたのワーク&ライフ探見

〈仕事と生活の調和〉という視点から、ある日の生活時間を書き込んでいただきました。53人の回答者の中から、4人の方のワーク&ライフをご紹介します。編集委員がコメントを書き添えました。

ワーク&ライフ

30代・女性
フリーインストラクター

1	起床
2	朝食準備、洗濯
3	保育所送り(2分所)
4	仕事
5	仕事
6	仕事
7	仕事
8	仕事
9	仕事
10	仕事
11	仕事
12	仕事
13	仕事
14	仕事
15	保育所、お迎え、買い物
16	夕食準備
17	夕食
18	入浴、洗濯(1分)
19	おがしつけ
20	就寝
21	就寝
22	就寝
23	就寝
24	就寝

毎朝2ヶ所の保育園に送り、お仕事、お迎え、そして買い物...毎日お疲れ様です。パパの休日にお子さんを預けて、ゆっくりにできるというですね。

朝早くから、夜遅くまでお仕事、ご苦労さまです。生活時間がもっと増えるといいなあ。

義父母のお世話もしながら、きちんと自分の時間も確保していらっしゃるのはすばらしい!

仕事のほかに、ピアノの練習もされていて、見事にワークライフバランスが取れていますね!私生活も大切にされています。

ワーク&ライフ

40代・女性
会社員

1	起床
2	朝食準備
3	朝食
4	仕事
5	仕事
6	仕事
7	仕事
8	仕事
9	仕事
10	仕事
11	通勤
12	ピアノ・夕食仕度
13	夕食
14	家事etc.
15	仕事
16	仕事
17	仕事
18	仕事
19	仕事
20	仕事
21	仕事
22	仕事
23	仕事
24	就寝

気づき始めた日本

A子 ワーク・ライフ・バランス社会は確かに良さそうですが、横文字なのがどうも。竹信 もともと欧米で整ってきた生活スタイルですからね。それが日本で提唱された最大の理由は、急速な少子化です。仕事と家事の両立支援が不十分で、男性は長時間労働というのでは、女性は結婚することすらためらっています。また少子化で労働力が不足すれば、女性の労働力で補う必要が出てきます。となると、女性も男性も仕事

A子 息子は派遣社員で、いつ契約を切られるか心配です。そういう働き方がいいですね。竹信 ワーク・ライフ・バランス社会は、雇用の場が公正な社会なのですよ。

竹信 ワーク・ライフ・バランス社会は、雇用の場が公正な社会なのですよ。

この印刷物は再生紙を使用しています

立川この人

わが子のためにと書いた絵本が…一冊の児童書に



清水 千恵（しみずちえ）さん

先天性難聴の息子の育児を通して感じたことを知ってほしいと児童書を書き始め、2008年3月「ぼくたちのしあわせの王子」（文研出版）を出版。今年2作目を出版予定。立川市在住。

「ぼくたちのしあわせの王子」あらすじ ゆういちくんは、耳が聞こえない。でも、あとは皆とつしよ。サッカーが大好きな男の子だ。学芸会で彼のクラスは「しあわせの王子」（オスカ・ウィルド作）の劇をすることになった。ツバメの役になったゆういちくんは、クラスの仲間と「一緒に成長していく…」。

●「ぼくたちのしあわせの王子」を書かれた動機は？

息子が小学校3年生の時に、地域の公立小学校に転校したのがきっかけでした。聴覚障害について、少しでも先生や友だちに知ってもらいたくて、最初、教材っぽい絵本を書いて

たのです。でも、どうせならもっと多くの人たちに読んでもらえたらと、出版社に送りました。

そうしたら、思いがけず出版社の方が読んでくださって、「お子さんは耳に障害があっても、きつと皆と同じに頑張

ます。聴覚障害の子どもの現状については？

今、医学が発達し、ある程度の聞こえが確保できるので、就学するにも選択の幅が増えました。たとえば、普通学級で障害を持たないお子さんと一緒に生活するということも可能です。その子たちとの間に信頼やきずなを築く場が広がっていると思います。

ただ、個人差はありますが、補聴器をつければ健常者と同じように聞こえるかというと、そうでもありません。もともとチューニングの悪いラジオから聞き分けているような「聞こえ」なのだそうです。補聴器を付ければ、何でも聞こえると思われて、誤解されてしまうことがよくありますが、そういう中途半端な状況であることを理解してほしいです。

また、息子にとって必要不可欠な内耳用電池は、とても

共生社会がきつと来ると思っています

ず劇のなかで王子様が泣く。お母さんがゆういちの話を聞いて泣く。ゆういちが学校で悔しくて泣く。劇が成功して泣く。いろんな涙があります

じように聞こえるかというと、そうでもありません。もともとチューニングの悪いラジオから聞き分けているような「聞こえ」なのだそうです。補聴器を付ければ、何でも聞こえると思われて、誤解されてしまうことがよくありますが、そういう中途半端な状況であることを理解してほしいです。

また、息子にとって必要不可欠な内耳用電池は、とても

高価なので、少しでも助成があればと思います。それから聴覚障害の専門医がもう少しいろいろな地域にいてくださるといいですね。

2作目の「たつくんとはく」は、発達障害の子どもと周りの子が、共生して成長していく姿を描いています。小学校へ入学する手前くらいの子どもに読んでもらって、実際に学校で障害を持った子と出会ったとき、ああ、読んだことあるなって思ってもらえたらいいなあ。

1作目もそうですが、障害があるからといって一方的に助けてもらうのではなく、障害を持つ子も持たない子もギブアンドテイクで助け合いながら共生していくということが私のテーマです。当たり前に、お互いが助け合い、笑い合える関係を結べる近未来であってほしいです。子どもたちにそれを自然な形で手渡せたらと願って、書いていきたいと思っています。

アイムインフォメーション

お問い合わせは、女性総合センター
☎042-528-6801へ。

第2回たちかわ男女平等フォーラム

6/21(月)~7/4(日) 準備中

テーマ「ワーク・ライフ・バランス」
くわしくは、5/25号の「広報たちかわ」で。

平成22年度市民参加事業（予定）

くわしくは、4月10日号の「広報たちかわ」か、女性総合センターへ。

■市民企画活動事業

男女平等参画の実現に向けた講座やワークショップなどを、主に市民で構成する5人以上の団体、グループに企画・運営していただく予定です。お申し込みは、女性総合センターで配布する所定の用紙で。

■情報紙「アイム」

情報紙「アイム」は市内全戸に配布している女性総合センターの情報紙で、市内在住・在勤・在学の編集委員が紙面の企画・取材・執筆などを行っています。平成22年度は年2回（9月・3月）発行予定。発行ごとに10回程度開く編集会議に参加していただきます。

消費生活相談
消費者ホットライン

☎0570-064-370
守ろうよ みんなを

市消費生活センターの番号がわからなくても、ホットラインにかけて自宅の〒番号を打ち込めば、次の「消費生活相談」につながります。

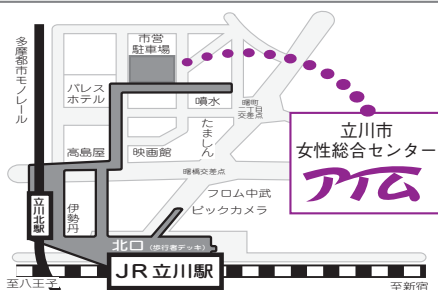
●月～金曜日は立川市 ●土曜日は東京都
●日/祝日は 国民生活センター

*ただし、9:00～正午、13:00～16:00

※市の相談直通番号は変更ありません。

☎042-528-6810

16:00～9:00は留守電に連絡先を吹き込んでください。後日、こちらから連絡します。



立川市消費者団体連絡会30周年記念事業

我が家のトマト料理コンテスト
レシピ募集

皆さんごぞんじですか？立川ではトマトづくりが盛んなんです。トマトは1月に種を植え付けてから微妙な温度管理が必要で、立川市の農家の方はこのデリケートなトマトづくりの技術に優れているんです。大事に育て上げられたトマト、こだわりのトマトのおいしさを、皆さんにお伝えしたくて「我が家のトマト料理コンテスト」を行います。

さあ！皆さんの「自慢のトマト料理のレシピ」をお寄せください

※このトマト料理コンテストは、立川市消費者団体連絡会の設立30周年記念事業です。私たちは、立川産の野菜を「食べ支える」事の大切さを広げ、農業のあるまち立川を残したいと思っています。

主催：立川市消費者団体連絡会（グループ・ベターライフ/食とくらしと環境を考える会/生活協同組合コープとうきょう立川コープ会/立川シティクラブ/立川市婦人団体連絡協議会/多摩きた生活クラブ生協まち立川/パルシステム東京立川委員会）

共催：立川市農業経営者クラブ・立川市消費生活センター
後援：立川農業振興会議、立川市農業技術振興会

■募集期間 平成22年2月20日～4月30日（募集メ切）

■募集内容 立川産のトマトを使用したオリジナルの家庭料理（主菜・副菜・デザート・飲み物・ソース、和・洋・中、その他なんでも可）、未発表のもの

■応募資格 市内在住・在勤・在学の方

■応募方法 応募用紙はアイム・学習館に置いてあります。記入の上、次の方法で応募してください。

①郵送 〒190-0012 立川市曙町2-36-2
消費生活センター

「我が家のトマト料理コンテスト」レシピ募集係

②FAX 042-528-6805

③Email tachikawatomato@gmail.com

メールで用紙を送ります。記入後返送をお願いします。

■コンテスト開催予定 6月下旬～7月上旬

最優秀賞1点、優秀賞5点を予定。賞品あり。

最優秀賞は、情報紙「アイム」で発表します。

■問い合わせ：

立川市消費生活センター（女性総合センター内）

TEL042-528-6801

FAX042-528-6805へ。

平成21年度アイム編集委員

情報紙「アイム」（No.25）は、次の編集委員の皆さんの企画・編集でお届けしました。
〔編集委員〕鈴木洋子・武江俊江・玉井公子・富永文子
〔助言者〕原和美
次号（No.26）は、平成22年9月10日発行予定です。